2020 消化器 ユニット 2・3 試験問題 再現

2020. 9. 11 実施

1. 消化管ホルモンと作用の組合せで正しいのはどれか。 2つ選べ

- (a) 胃液分泌促進 - gastrin
- (b) 胃液分泌抑制 - secretin
- (c) 膵液分泌促進 - somatostatin
- (d) 胆汁分泌抑制 - cholecystokinin
- (e) 膵液分泌抑制 - vasoactive intestinal polypeptide

2. ビタミン B12 吸収障害をきたす状態について正しいものを 2つ選べ

- (a) 胃全摘後
- (b) 胆嚢摘出後
- (c) 膵尾部切除後
- (d) S 状結腸切除後
- (e) 回腸末端部切除後

3. PIVKA-II が高値となりうる疾患・病態を 2つ選べ

- (a) 肝細胞癌
- (b) Lewis 抗原陽性
- (c) ビタミン B12 欠乏
- (d) ワーファリン内服中
- (e) ビタミン K 製剤内服中

4. シェーグレン症候群の診断に用いる検査はどれか。 すべて選べ

- (a) サクソンテスト
- (b) 口唇腺生検
- (c) パッチテスト
- (d) 抗 SS-A、抗 SS-B 抗体検査
- (e) Bence Jones タンパク検査

5. 咬合の不正を生じる骨折はどれか。すべて選べ

- (a) 下顎骨体部骨折
- (b) 下顎骨関節突起骨折
- (c) 下顎骨筋突起骨折
- (d) 頬骨弓骨折
- (e) Le Fort I型骨折

6. 顎骨の急性骨髄炎でみられないのはどれか。2つ選べ

- (a) 白血球数の増加
- (b) 核の右方移動
- (c) グロブリン量の減少
- (d) 桿状核球数の増加
- (e) CRP 値の上昇

7. 菌性上顎洞炎について誤っているものはどれか。2つ選べ

- (a) う歯や歯周炎が原因で生じる
- (b) 上顎洞の X 線透過性が亢進する
- (c) 片側の^上顎洞に発症することが多い
- (d) 歯科用インプラントが原因で起こることがある
- (e) 上顎前歯が原因歯となることが多い

8. 舌扁平上皮癌で転移が多いのはどれか。2つ選べ

- (a) 頰部リンパ節
- (b) 後頭リンパ節
- (c) 顎下リンパ節
- (d) 耳介後リンパ節
- (e) 上内深頸リンパ節

9. 前がん病変はどれか。2つ選べ

- (a) 色素性乾皮症
- (b) 梅毒性舌炎
- (c) 白板症
- (d) 紅板症
- (e) 口腔扁平苔癬

10. 関係のある組み合わせはどれか。3つ選べ

- (a) 乳頭腫 － パピローマウイルス
- (b) 口腔扁平苔癬 － 帯状疱疹ウイルス
- (c) Koplik 斑 － ヘルペスウイルス
- (d) Fordyce 顆粒 － 異所性皮脂腺
- (e) 黒毛舌 － 長期抗菌薬使用

11. 唾石症について正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) エックス線不透過性のものが多い
- (b) 両側性に発症することが多い
- (c) シェーグレン症候群に合併しやすい
- (d) 舌下腺に好発する
- (e) 摂食時に疼痛が増強する

12. 嚥下機能について、誤った組み合わせはどれか

- (a) 口腔期 － 食塊の送り込み
- (b) 咽頭期 － 鼻咽腔閉鎖
- (c) 食道期 － 食道入口部弛緩
- (d) 嚥下機能改善術 － 輪状咽頭筋切断術
- (e) 誤嚥防止手術 － 喉頭挙上術

13. 扁桃関連疾患について正しいのはどれか。3つ選べ

- (a) IgA 腎症において、扁桃摘出により腎生存率が高まる
- (b) 掌蹠膿疱症において、扁桃におけるインフルエンザ菌の過敏反応が起こる
- (c) PFAPA 症候群では、レンサ球菌感染が契機となる
- (d) 伝染性単核球症では、EB ウイルス初感染が契機となる
- (e) 溶連菌感染による急性扁桃炎では、発赤・咽頭痛が強い

14. 消化器がんの放射線治療について正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 食道がんの根治的治療では総線量が 50～60Gy の放射線治療が行われることが多い
- (b) 食道がん治療で化学療法が併用される場合、薬剤にはゲムシタビンがよく用いられる
- (c) 食道がんはリンパ節転移が少なく、照射範囲は原発巣に局限されることが多い
- (d) T1N0M0 の直腸がんに対して術前の化学放射線療法が有用である
- (e) 肛門がんは根治的放射線治療の適応となり得る

15. 緩和的放射線治療について正しいのはどれか。2つ選べ
- (a) 骨転移に伴う疼痛緩和に有用性が高い
 - (b) 脳転移に伴う運動麻痺の改善は期待できない
 - (c) 脊椎転移に伴う脊椎圧迫は緊急治療の適応となる場合がある
 - (d) リンパ節転移に伴う痛みは適応とならない
 - (e) 直腸がんの骨盤内再発に伴う痛みには無効である
16. 早期胃癌の消化管造影検査所見として正しいのはどれか
- (a) 褪色调陥凹
 - (b) 弯入
 - (c) 蚕食像
 - (d) 瀑状胃
 - (e) ひだの融合
17. 潰瘍性大腸炎の消化管造影検査所見として正しいのはどれか
- (a) Skip lesion
 - (b) Rigler's sign
 - (c) Apple core sign
 - (d) Cobble stone appearance
 - (e) Lead pipe appearance
18. 次の文章のうち誤っているのはどれか
- (a) 腸重積は6ヶ月～3歳に多く、成人では悪性腫瘍などの原因病変を伴うことが多い
 - (b) Closed loop が形成されている腸閉塞は手術などの適切な処置を行わないと致死的である
 - (c) 中腸回転異常では180°回転型が最も高い
 - (d) Hirschsprung 病は壁内神経節細胞の欠如が原因で、腹部膨満や腸閉塞をきたす
 - (e) 急性虫垂炎の痛みは心窩部、上腹部の鈍痛から徐々に増強しながら右下腹部痛に移行する
19. Meckel 憩室について誤っているのはどれか
- (a) 腸間膜の対側に発生する
 - (b) 合併症として腸閉塞がある
 - (c) 異所性組織として胃粘膜を含む
 - (d) 胎生期の卵黄腸管の一部が残存したものである
 - (e) Treitz 靱帯より肛門側90cm程度の空腸に好発する

20. 次のうち内ヘルニアはどれか。2つ選べ

- (a) 大網裂孔ヘルニア
- (b) 閉鎖孔ヘルニア
- (c) 腹壁癒痕ヘルニア
- (d) Winslow 孔（網嚢孔）ヘルニア
- (e) 内鼠径ヘルニア

21. 食道表在癌の治療法の選択で正しいものはどれか。2つ選べ

- (a) m1 癌は EMR（内視鏡的粘膜切除術）の適応である
- (b) m2 癌には脈管侵襲が認められるため、根治手術の適応となる
- (c) sm 癌は早期癌のためリンパ節郭清は不要である
- (d) sm2・sm3 癌ではリンパ節転移の頻度が高いため、根治手術の適応となる

22. 食道癌に最も合併が多いのはどれか

- (a) 肺癌
- (b) 肝臓癌
- (c) 胃癌
- (d) 大腸癌
- (e) 膀胱癌

23. 疾患と術後早期に起こりうる合併症の組み合わせとして適切なものはどれか。2つ選べ

- (a) 食道癌 — 骨盤内膿瘍
- (b) 食道アカラシア — 嘔声
- (c) 胃癌 — 瘵液ろう
- (d) 上行結腸癌 — 排尿障害
- (e) 直腸癌 — 射精障害

24. 胃癌の術後合併症について正しいものはどれか。

- (a) 術後に吻合不全を生じた場合、その後に吻合部狭窄となることがある
- (b) 噴門側胃切除術後の小腸間置再建術は摂取した食物の貯留能保持が主な目的である
- (c) 逆流性食道炎に対しては、逆流防止のための再手術が第一選択である
- (d) 早期ダンピングの症状は血糖値の急速な変動に起因するものが多い
- (e) 胃切除後には鉄欠乏性貧血は稀である

25. 胃癌に対する幽門側胃切除術で通常切離される血管はどれか。3つ選べ
- (a) 右胃動脈
 - (b) 右胃大網動脈
 - (c) 総肝動脈
 - (d) 胃十二指腸動脈
 - (e) 左胃大網動脈
26. 大腸癌について正しいものはどれか。3つ選べ
- (a) 早期下部直腸癌では、経肛門的、経括約筋的、経仙骨的腫瘍切除術も適応となる
 - (b) 直腸癌術後の局所再発は稀である
 - (c) 進行直腸癌に対して放射線治療が行われることはない
 - (d) 肝転移、肺転移の頻度は結腸癌と直腸癌との間に差が認められる
 - (e) 結腸癌、直腸癌ともに CEA は有用な腫瘍マーカーである
27. 結腸癌について正しいものはどれか。3つ選べ
- (a) 潰瘍浸潤型が多い
 - (b) 左側結腸癌はイレウスをきたしやすい
 - (c) S 状結腸癌の頻度がもっとも多い
 - (d) 血行性転移臓器は肝臓がもっとも多い
 - (e) 結腸癌の再発形式は、肝転移より腹膜播種のほうが多い
28. 45 歳、男性。直腸後壁、歯状線口側 3cm に下縁を有する病変 (20×20mm) を認め、経肛門的に局所切除を施行した。今後の治療として適切なものはどれか。3つ選べ
- (a) m 癌で断端陰性だったので、経過観察を行う
 - (b) sm 癌 (高度浸潤 sm3) だったので、閉鎖リンパ節郭清を伴う直腸切除術を行う
 - (c) sm 癌 (中等度以上の浸潤 sm2~3) で断端陽性であったので、局所的に再切除を行う
 - (d) sm 癌 (中等度浸潤 sm2) であったので、自律神経温存直腸切除術を行う
 - (e) sm 癌 (軽微な浸潤 sm1) であったので、経過観察を行う
29. 腸管感染症について、正しいものはどれか。2つ選べ
- (a) 免疫抑制状態では、サイトメガロ腸炎が発症する可能性がある
 - (b) 偽膜性腸炎の薬物治療の第一選択はバンコマイシン経口投与である。
 - (c) アメーバ赤痢の確定診断には便培養検査が必須である
 - (d) 回盲部の腸結核は稀である
 - (e) 腸管スピロヘータ症は重症化した後に発見される場合が多い

30. A型胃炎について、正しいものはどれか。2つ選べ

- (a) 大球性貧血を合併することがある
- (b) カルチノイドが多発することがある
- (c) *H.pylori*感染がある場合は発症しない
- (d) 主細胞が主に障害されて起こる
- (e) 病変部は前庭部 (antrum) 中心の分布となる

31. 大腸疾患の分類法、病因、及び組織像について正しいものはどれか。2つ選べ

- (a) Duke's分類は大腸癌の肉眼形態の分類である。
- (b) 家族性大腸腺腫症は *K-ras* 遺伝子の germline mutation が原因とされる
- (c) クローン病は乾酪壊死を伴う類上皮肉芽腫が特徴的である
- (d) 潰瘍性大腸炎の活動期には陰窩膿瘍が見られることが多い
- (e) Goligher分類は痔核の病期分類である

32. 胃、及び十二指腸疾患の病因、組織像について正しいものはどれか。2つ選べ

- (a) MALTリンパ腫は *H.pylori*感染と関係がある
- (b) Gastrointestinal stromal tumor (GIST) の約90%は免疫染色で c-KIT 陽性である
- (c) セリアック病は *Tropheryma whipplei* の感染が原因とされる
- (d) 胃生検材で adenoma は Group 4 に分類される
- (e) Borrmann分類は癌の壁深達度、リンパ節転移で判定する

33. 胃癌に関連して正しいものはどれか

- (a) 早期胃癌とは、癌腫が粘膜層までにとどまるものであり、リンパ節転移を認めない癌である
- (b) 大きさ 30mm の IIc 肉眼的粘膜内癌 未分化型癌 UL0 と判断される病変は ESD の適応拡大病変である
- (c) 内視鏡的に腫瘍が一括切除され、切除標本が 1cm 以下の未分化型癌で pT1b (SM1) であり、かつ HM0、VM0、Ly1、V0 であった場合は、内視鏡的根治度 C-2 (eCuraC-2) とし、追加外科手術が標準となる
- (d) StageIV手術不能進行再発胃癌に対する一次化学療法として推奨される薬剤はニボルマブである
- (e) StageIV手術不能進行再発胃癌に対して化学療法を施行すると 50%程度で根治可能である

34. 胃疾患に関する次の記述のうち正しいものはどれか
- (a) 現在 20 歳代の *H.pylori* 感染率は 50% 程度である
 - (b) GIST の治療の第一選択はイマチニブによる内科治療である
 - (c) *H.pylori* は主に成人になってから感染する
 - (d) 胃に発生する悪性リンパ腫の中で、頻度が高い組織型は MALT と DLBCL (Diffuse large B-cell lymphoma) である
 - (e) 大きさ 1cm の胃粘膜下腫瘍を認めた場合、手術治療が必要である
35. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいものはどれか。2つ選べ
- (a) 食道異物は第 2 狭窄部に最も多くみられる
 - (b) 胸部中部食道 (Mt) は漿膜に覆われている
 - (c) 食道アカラシアの分類として Los Angeles 分類がある
 - (d) 早期食道癌は、原発巣の壁深達度が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない
 - (e) RC サイン陽性を伴う食道静脈瘤は治療適応である
36. 蛋白漏出性胃腸症の原因となるのはどれか。3つ選べ
- (a) メッケル憩室
 - (b) 腸リンパ管拡張症
 - (c) 非特異性多発性小腸潰瘍症
 - (d) クロウン病
 - (e) 過敏性腸症候群
37. 次の選択肢の中から正しいものを 2つ選べ
- (a) Crohn 病では潰瘍性大腸炎に比べて高齢発症も多くみられる
 - (b) 潰瘍性大腸炎では直腸から口側にむかって連続するびまん性炎症が典型的である
 - (c) colitic cancer は、炎症の範囲が広く、慢性持続している罹患年数の長い Crohn 病でリスクが高い
 - (d) 栄養療法は Crohn 病よりも潰瘍性大腸炎で重要視される
 - (e) IBD の診療は個々の病状や社会的背景などに合わせたオーダーメイド医療となっている

38. 次の選択肢の中から正しいものを 2つ 選べ

- (a) 大腸癌は現在日本人における罹患数第1位の癌であるが、減少傾向にある
- (b) 深達度が粘膜下層の早期大腸癌は、一律に内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の適応となる
- (c) 大腸腺腫性ポリープの内視鏡的切除は大腸がんのリスクを低減させる
- (d) Peutz-Jeghers 症候群は常染色体優性遺伝の腺腫性ポリポシスである
- (e) Cronkhite-Canada 症候群は後天性の過誤腫性ポリポシスで、蛋白漏出性胃腸症をきたしやすい

39. 次のうちで誤っているものはどれか

- (a) 胃アニサキス症に対しては虫体内視鏡的摘出が有効である
- (b) 胃十二指腸潰瘍の原因の1つに、NSAIDs（非ステロイド性抗炎症薬）の服用がある
- (c) 機能性ディスぺプシアでは各種検査にて明らかな器質的異常を認めない
- (d) 胃びらんとは、組織欠損が粘膜層のみの状態のことをさす
- (e) 10mm以上の胃底腺ポリープは癌化を考慮して内視鏡的切除を行う

40. *H.pylori* について正しいものはどれか

- (a) *H.pylori* 除菌治療後に再感染をきたすことはない
- (b) Strickland-Mackay 分類のA型胃炎は、*H.pylori* 感染と関連が深い
- (c) 胃 MALT リンパ腫は *H.pylori* 除菌療法の保険適応である
- (d) 幼児期に自然感染した *H.pylori* は、ほとんど自然排除される
- (e) *H.pylori* 陽性の慢性胃炎（萎縮性胃炎）患者は胃癌発生の低危険群である

（個人的分析）

過去問で見たことのある問題が多めでした。中でもここ数年連続で出ている問題が多いので、数年分の過去問は見ておくのがいいと思います（なお、先生側もテスト後「引き続き過去問を勉強してください」とおっしゃっていました）。

追試者 12人（消化器後半の試験と合わせて評価）